

第 20 回 地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会欠席委員の意見

<24 年度決算について>

○素晴らしい決算であり、非常に順調である。

○経営状況については、病床利用率の向上や、在院日数の短縮化等を進めてきた結果であり、敬意を表するが、一方で、在院日数の短縮化に伴い、早期に退院する患者さんから不満の声が上がっていないか。十分な説明がされているか。

<24 年度事業報告について>

○市民・患者へのサービスの一層の向上

中央市民病院の市民健康ライブラリーの運営再開については、良いことであり、今後の内容の充実を期待している。運営に関しても、病院側だけでなく、患者さんの声をキャッチするためにもボランティアの活用は有効であり検討していただきたい。また、入院患者等が利用する図書室についても、一般図書中心ではなく医療情報を掲載した図書も備えるなど充実してほしい。

○高い専門性と総合的な診療、専門性の高い資格や技術の取得への支援

チーム医療が高まる中で、まだ多くの患者さんの問合せが、医師に集中している。これは、患者さんが医師以外のスタッフの役割を理解できていない事も一因であり、院内でも医師以外に、こんな資格を持った専門の職員がいますよというPRをすべき。

そのことが、様々な資格を有する病院スタッフを有効活用することにもつながる。

○安定した経営基盤の確立

現在の経営は好調であるが、今後、診療報酬の改定や、消費税改定の影響を注視する必要がある。

○診療単価が上がっているのは素晴らしい。

<小項目評価について>

○地域医療機関・保健機関・福祉機関との連携推進

紹介率、逆紹介率とも高い数字を維持しており、地域医療機関との連携について、かなり力を入れていると思う。高い逆紹介率を、患者さんが納得して実現できてい

るのであれば、評価を3から4に上げて良いのでは。努力した項目は、評価されていることが見えないと職員の士気が上がらない。

○臨床評価指標等

臨床評価指標について、事故を起こさないだけでなく、今後は診療のプロセス、質を確保していくことが大切であり、今後強化していくべきところである。

○環境にやさしい病院づくり

病院は患者サービスを優先するので多くのエネルギーを使う施設であるが、外部から評価を得たこと（CASBEEという外部評価でS（素晴らしい）ランク評価）は一定評価したい。

○バランストスコアカード（BSC）を用いた経営

第2期中期目標からBSCを用いた経営の項目がなくなるが、この実現は、なかなか難しい。実質的にBSC的な運営をしていたということで3が適当

○全体

経営も好調で、人材も集まり、患者満足度も上がっているなど、全体として、よくやっていると思う。他都市の病院でもここまで伸ばしているところはないと思う。評価については、様々な項目で頑張っており、評価が3の項目でも、一部は4に近い項目もある。少なくとも評価を2に下げる項目はない。

○全体

全体的には、理事長・院長のリーダーシップの下、努力された結果が表れている。各種指標の数字においても高い達成度を示している。

紹介率・逆紹介率についても、当初は、地域連携をどう進めていくかが課題であったが、現在では高い目標を達成しており、今までの努力を評価に示したい。

<中期目標（案）に対する市民意見の募集結果について>

○救急医療

多くの初期救急患者が中央市民病院を受診することで、中央市民病院の3次救急機能に支障をきたすことのないように、患者さんに中央市民病院の役割を十分理解していただくことが必要である。初期・2次救急患者は、地域の初期救急医療機関や2次救急医療機関を受診してもらうことが重要であり、救急医療機関の役割分担を明確にし、市民に3次救急医療機関としての役割を認識してもらうようPRを強化すべき。